

第9回日展

第1科（日本画） 審査所感

審査主任 土屋 禮一

審査はいつも「新たな若い無欲のエネルギー」に出会える楽しみがあります。

今と云う時代ならではの、日本画の岩絵具ならではの、そしてその人ならではの仕事にいつも期待し、価値ある新しさを見逃さない思いで審査にあたりました。お互い可能性だけは一杯あるのに今出来ることは一つだけです。この緊張感、いつも大切に画面に向かいたいものです。

今年は339点の搬入作品から154点の入選、その中から10点の特選が決まりました。

最後に外部審査員の岡泰正先生、菊屋吉生先生と云う極めて日本画に造詣の深い先生とご一緒させていただき、御礼と感謝を申し上げます。

搬入数 339点

入選数 154点

(内新入選) 13点